



姫路医療生活協同組合

2018年度 総代会方針案 ダイジェスト版

〒670-0832 姫路市双葉町10番地 ☎079-285-3398

2018年度スローガン

事業を通じた社会貢献をひろげ、 地域共生社会^①づくりにチャレンジ！

はじめに

平和をめぐる情勢では、昨年、国連で核兵器禁止条約が採択され、国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)がノーベル平和賞を受賞するなど、核兵器廃絶に向けた大きな前進がありました。一方、日本では憲法改定をめぐる動きが強まっています。日本は憲法9条があったからこそ、戦後70年以上にわたり、人を殺し殺される戦争に参加しなかったと言えます。姫路医療生協は人類の課題として、これからも平和を守り、核兵器廃絶に向けた努力を続けます。

2017年度は、法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」のもと、“個人の尊厳”と“生活の質の向上”を大切に事業経営と地域活動をひろげました。「誰もが、住み慣れた地域で“その人らし



西ブロック「簡単すこしお料理教室」

く、気持ちよく生きる”ことができるまちづくり」ー地域包括ケア^②を推進しました。そして、新たに地域共生社会づくりの取り組みに着手しました。今後は、超高齢社会を見据え、「すべての地域住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく暮らすことができる社会」ー地域共生社会を展望した取り組みが求められています。

私たちは、事業を通じた社会貢献をひろげ、格差・貧困などの諸問題と超高齢社会“2025年問題”に対応し、未来を切り開きます。事業と活動をさらにひろげ、地域共生社会づくりをめざします。

姫路医療生協の姫路市内における 介護サービスのシェア

	2016年度実績	2015年度実績
● 定期巡回・随時対応サービス	100.0%	100.0%
● 小規模多機能ホーム	32.7%	33.0%
● 訪問入浴	31.9%	28.5%
● 訪問看護	21.1%	21.5%
● 訪問介護	11.4%	11.5%
● ケアプラン	11.3%	11.6%
● 福祉用具レンタル	8.6%	8.7%
● 通所リハビリ	7.9%	8.9%
● 通所介護	6.4%	5.5%

2018年度通常総代会の公告

日時：2018年6月15日(金)午後2時～5時
会場：イーグレひめじ あいめっせホール(3階)

2018年度のすすめかた

1

地域包括ケアを推進し、介護と医療の 一体化したサービスの提供をすすめます

- ①地域包括ケアとICF(国際生活機能分類)③を実践によって考え方をひろげます
 - 全事業所が地域包括ケアの中で果たす役割を明確にします。
 - 「中重度利用者」「認知症ケア」「生活行為向上リハビリ」「在宅看取り」「口腔ケア」「栄養管理」の機能強化をはかります。
 - 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強化します。
 - 姫路医療生協版「地域ケア会議④」を定期開催し、利用者中心の多職種協働をすすめます。自立支援と重度化防止を重視します。
- ②地域密着型サービスを重視し、在宅サービス事業の積極的な展開をはかります
 - 2018年4月に小規模多機能ホーム野里、定期巡回・随時対応サービス⑥北部を開設します。小規模多機能ホームを転換し、看護小規模多機能⑥の開設をめざします。
 - 太子町等、姫路市に隣接する市町での介護事業展開の検討をすすめます。
 - 訪問診療件数を大きく増やすことで、介護事業との相乗効果をはかります。
 - 共立病院大改造の条件整備をすすめます。生協本部の拡充を検討します。
 - 障害福祉サービスの新たな展開を研究します。
- ③経営活動は3つの柱（利用者増・質の向上・コンプライアンス）ですすめます
 - 営業活動と広報活動を強化し、利用者増をはかります。
 - コンプライアンスを徹底し、各種加算をすべて取得することでサービスの質の向上につなげます。
 - 介護事業所へICT（情報通信技術）を導入し、情報共有の強化、業務の効率化、利用者増につなげます。
 - 事業収益は●●億円（前年比●●%）、経常利益は●●万円（経常利益率3.0%以上）を実現します。
- 内部統制システム⑦を強化します。共立病院は病院機能評価を受審します。



小規模多機能ホーム香寺（2017年6月開設）

2

健康づくり、助け合い活動をひろげ、 「くらしの安心ネットワーク」をひろげます

- ①ブロック・支部活動の活性化をはかり、担い手をひろげます
 - “楽しく、おいしく、オシャレ”な地域活動をひろげます。ニーズに応えた楽しい班づくり、サークルづくりをすすめます。
 - 健康づくりは、健康寿命を延ばすフレイル予防（虚弱予防）をひろげます。
 - 新たに、手首で測定する骨密度チェックや足指力チェック、兵庫県生協連主催の「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」に取り組みます。
 - つながりを生かし、世話人づくりをすすめます。若い世代へのはたらきかけを強めます。
 - 仲間ふやし1,030人、出資金ふやし3,000万円以上（純増1,500万円）、各事業所は組合員利用率のアップに取り組みます。
- ②地域に開かれた活動で“地域共生社会”づくりをめざします
 - 地域ニーズに応えた地域住民誰もが参加できる楽しいイベントを開催します。
 - 認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくりをすすめます。
 - くらしの助け合いの会はなちゃんの支援会員や各事業所ボランティアを増やします。
 - 事業利用委員会で「キラリハート⑧」、認知症カフェや介護者家族会等の居場所づくり、利用者増に取り組みます。
- ③くらし・平和活動をすすめます
 - 行政とは“対話型・提案型”で、ともに地域包括ケアを推進します。
 - 原水爆禁止世界大会への代表派遣や「大学学習会」等を企画します。
 - 憲法9条を守る「3000万人署名」をすすめ、平和を守ります。社会保障の充実、原発ゼロ・自然エネルギーへの転換の声をひろげます。環境問題に取り組みます。
 - 西播社保協の自治体キャラバンへ積極的に参画します。



花田支部「バス旅行」

3

“地域包括ケアを担う 人づくり”をすすめます

- ①職員育成4つの視点の具体化・実践をすすめます
 - 職員育成4つの視点－（1）地域包括ケアとICFを学び実践できる、（2）多職種協働ができる、（3）利用者増に活かせるマネジメントができる、（4）主体的に地域活動に参加できる人づくりをすすめます。
 - 全職員を対象にした計画的な職員研修を実施します。
 - マネジメント研修を重視し、管理者・職責者・リーダーを計画的に育成します。PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）を重視したマネジメントをすすめます。
- ②創意工夫を凝らし、人材確保をすすめます
 - 特に医師、介護福祉士、看護師の確保は必須の課題です。
 - 処遇改善と職員のキャリアアップ、“安心して働き続けられる職場づくり”を推進します。
 - 介護系学校への営業活動を強化します。多彩な取り組みをすすめ、介護人材確保・育成をすすめます。
 - 担い手を増やし、総合事業⑨への対応をすすめます。
- ③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます
 - 第20回介護・医療フォーラムの開催や通信教育等に取り組みます。
 - 月刊誌「コムコム」「いつでも元気」を組合員・職員に普及します。
 - ホームページやニュースひめじ、支部ニュース等による情報発信力を強化します。



手柄支部
「心肺蘇生法
(AED)学習会」

《語句の解説》

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>①地域共生社会
高齢者や障がい者、子ども、若者等、地域住民誰もが役割を持ち、支え合いながら自分らしく暮らすことができる社会</p> <p>②地域包括ケア
誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり。医療、介護、生活支援・介護予防、住まいの切</p> | <p>れ目のない一体的なサービスの提供をめざします</p> <p>③ICF（国際生活機能分類）
利用者一人ひとりの生活一心身機能（体の動き）、活動（生活）、参加（人生）の視点からアセスメント（評価）することを重視した考え方</p> <p>④地域ケア会議
多職種の医療・介護専門職や地域住民等が参加して、事例を通して地域課題を明確にし、新たな社会資源の開発につなげる会議</p> | <p>⑤定期巡回・随時対応サービス
訪問介護と訪問看護、随時対応を組み合わせた24時間つながる安心サービス</p> <p>⑥看護小規模多機能
訪問・通い・泊りのサービスに加え、看護師による訪問を組み合わせた地域密着型の在宅サービス。医療的ケアや在宅看取りニーズに積極的にお応えします</p> <p>⑦内部統制システム
業務全般の適正さが確保できる仕組みをつくり、その仕</p> | <p>組みに基づいて運営すること</p> <p>⑧キラリハート
利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にする取り組み</p> <p>⑨総合事業
各市町村が、地域包括ケアを推進するために介護予防や生活支援サービス等を整備する事業</p> |
|--|--|--|--|

2017年度のまとめ

1 利用者を中心にした介護と医療の 一体化したサービスの提供をめざします

①地域包括ケアとICFの実践をすすめました

- 姫路医療生協版「地域ケア会議」を定例開催し、多職種協働を推進しました。
- 職員が行政や職能団体の役を積極的に受け、連携会議等に参画し、行政や他団体との“顔の見える関係づくり”を推進しました。
- 介護人材確保（姫路市）や地域密着型サービス（太子町）をテーマにした懇談をおこない、行政との連携を強めました。

②2017年度も積極的な新規事業を展開しました

- 2017年4月 定期巡回・随時対応サービスあぼし開設
6月 小規模多機能ホーム香寺開設
9月 姫路市から総合事業訪問生活援助の指定
- 「香寺」つくる会、「野里」つくる会を立ち上げ、組合員と職員が協同して地域訪問に取り組みました。

③経営活動は3つの柱（コンプライアンス・質の向上・利用者増）ですすすめました

- 介護事業部によるコンプライアンス活動を計画的に実施するとともに、訪問介護部門の経営改善をプロジェクトで推進しました。
- 2017年度決算は、事業収益●●億円（予算比●●%、前年比●●%）、経常利益●●万円（予算比●●%、前年比●●%）の到達となりました。

2 健康づくり・助け合い活動をひろげ、 地域コミュニティづくりに貢献します

①“楽しく、おいしく、オシャレ”な生協活動をすすめました

- 生協強化月間スタート企画、WHOウォーキングイベント、2018新春講演会、健康づくりフェア等、ニーズをふまえた楽しいイベントを開催しました。
- ブロックや支部、事業所主催の多彩なイベント、認知症カフェやサロン活動、介護者家族会等をすすめました。
- 健康づくりは、“あしたが大事！”（あ…歩く、し…しゃべる、た…食べる）を合言葉に、多彩にひろげました。健康チャレンジ（421名参加）、キッズチャレンジ（281名参加）に取り組みました。各イベントは、行政や他団体から後援をいただき、実施しました。
- 仲間ふやしは●●名（純増●●名）、出資金ふやしは●●万円（純増●●万円）の到達です。積立出資は月平均1,008件となりました。ニュースひめじ配布協力者は1,018名です。



キッズチャレンジ学習会(2017年7月)



憲法9条守れ署名宣伝行動（2018年1月）

②くらし・平和を守る活動をすすめました

- 7月に憲法・平和学習会を開催し136名が参加しました。辺野古新基地建設反対連帯支援行動参加者による報告会を同時開催しました。
- 原水爆禁止世界大会（長崎大会）に2名を代表派遣し、生協強化月間スタート企画で報告会を実施しました。「原発なくせ」の署名行動を継続しています。
- 共謀罪法案反対や憲法9条守れ等の署名宣伝行動を実施しました。
- 西播社保協による自治体キャラバンに参加し、5市6町を訪問しました。

3 “地域包括ケアを担う人づくり”を すすめます

①「職員育成4つの視点」に基づき、職員研修をすすめました

- 職員研修会は延べ633名が参加し、総代会方針・共謀罪・在宅看取りをテーマに多職種のグループワークを重視しました。
- 管理者研修会、職責者研修会はMBO（目標によるマネジメント）をテーマに実施し、実践に活かしました。
- 5月に学連交アンコールセッションin姫路を開催し、当生協の介護・医療事業の到達点を共有しました。
- 新任管理者研修、安全運転研修会等を開催しました。
- 創意工夫を凝らした人材確保と育成を推進しました
- 共立歯科では常勤医師体制が2名から3名へと強化されました。

- 介護人材確保は、2017年度から新たに介護福祉士国家試験対策講座、介護事業所見学ツアー、総合事業訪問生活援助担い手養成研修を開始しました。介護学生向けのパンフレットを作成し活用しました。2018年度の新卒介護職員は5名採用予定です。

- 引き続き、医師確保は今後の最重点課題です。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました

- 第19回介護・医療フォーラム（11月）は、社会学者の上野千鶴子氏をお迎えし、330名が超高齢社会への心構えと対応方法を学びました。

- 非常勤理事の事業所訪問研修を実施しました。

- 通信教育は、組合員32名、職員96名が受講しました。

④内部統制システムの推進をはかりました

- 副統括責任者の配置等、管理体制の強化をはかりました。
- 全職員対象にストレスチェックを実施しました。
- 介護事業所へのICT（情報通信技術）導入の検討をおこないました。
- 法人の災害・防災マニュアルの作成と周知は今後の課題です。